

富士見市鶴瀬地域公民館運営審議会議事録

開催日時	平成27年9月9日(水) 午後2時00分～午後3時30分
会場	鶴瀬公民館 第1集会室
出席者	世羅陽一郎・瀬戸 篤・山川亜希子・田中聰行 鶴瀬公民館長・鶴瀬公民館担当職員 (合計6名)
会議次第	別紙のとおり
会議資料	別紙のとおり
会議録確認	世羅陽一郎
公開・非公開	公開(傍聴人なし)
会議内容	
<p>議長および公民館長あいさつ後、傍聴希望者がいないことを確認。</p> <p>(1) 報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員体制について(平成27年度課業分担表)(資料1) ・平成27年度上半期(4月～8月)の事業報告(資料2) <p>上記について公民館長より資料に添って説明</p> <p>委員 資料の事業報告の中で、たとえば、げんもりかん事業で映画のフィルム代が非常に高く困っていると聞いているが、今回それを踏まえて何か対策を取っているのか。また公民館と主催者側とで対策について協議はしているのか。</p> <p>館長 げんもりかんは、公民館の中から出来てきた経過があり市民のみなさんの集まりの場となっている。げんもりかんは独自の会議を行っており、そこへ職員も参加している。金額の問題とかあるので映画の収益の度合いなどを図りながら赤字にならないよう調整している。また、映画の選定に関して協議することもある。周知を図るとかチケット販売について意見交換をしている。前回の映画の集客はよかった。</p> <p>委員 入れば、次回の費用に回せるということか。</p> <p>館長 ありがたいのは、自分達でチケット販売やポスター貼りをやっていただいている。また、映画の作品も集客が見込めるものだけでなく考えさせるような作品も選んでいただいている。</p> <p>委員 「アナと雪の女王」みたいに人気のあるフィルムは高い。また、他で何回も上映している作品には人が集まらない。私の町会でも映画祭を企画し、育成会にも呼びかけ上映会を催したが、設定した人数の1/10しか集められなかった。</p> <p>委員 人数設定は難しい。毎年行い、次に何をすれば、集められるのか10年もやっていけば予想が立つと思うが。</p> <p>館長 色々なところで上映しているがここではあまり心配していない、普通に</p>	

お客さん来てくれれば、良いと思う。200人程の方が来てくれている。

委員 パソコン相談室参加人数枠でサポートする側の人数が足りないのでは？

館長 パソコンサポートの方と協力してやっている。回数は以前に比べれば、減っているが、回数を増やす条件を整えばサポート人数の増減も考えていく。現在、予算的なものがなくボランティア頼みとなっているので予算を組むことも検討したい。

委員 公民館だよりの的なものでふじみ野EXPRESSは年に10回発行しているが。

館長 つるせ公民館だよりの10回発行し、中にふじみ野交流センター作成のふじみ野EXPRESSを折込む契約を業者と結んでおり、予算的にはふじみ野交流センター分と鶴瀬公民館分を合せている。ただ、きちっとエリアを分けることができれば折り込むことは無くなると考える。

委員 文化活動支援事業の中にオペラが入っておりすばらしいと思うが。

館長 市内のオペラをやる方にボランティアで協力してもらっている。

委員 障がい者の学習機会充実事業の中で、指導員は障がい者をサポートする教育を受けた方なのか？

館長 特に特別な資格を持っていなければいけないというわけではないと考えるが、確認はする。

全体の指導、サブ的に手伝う方や父母の方の協力もある。また、音楽クラブの指導の時は専門家の方に来てもらっている。過去には作業所などの指導員の方や福祉関係の方に参加してもらっていたが、現在はいない。改めてリーダーの育成を進めて行く。また、大学生にも手伝いをお願いする取組みについて緊急の研究すべき課題と思っているので、予算を取るための要求を現在行っている。

委員 事故が起きた時、責任がどこにあるかを明確にしておいた方が良いと考える。

館長 現在、公民館職員4名程で対応しているが、専門ではないので学級生が大きな声を出したりして同じ学級生が不安になっている時もあり、どのような対応をすれば良いのか非常に難しい。ただ、職員の中には以前福祉を経験してきているので対応をお願いしている。

委員 今の意見で、採用時に資格を持つボランティアを募集し、採用後はこういうことをお願いするという条件を示す必要があると思うが。

館長 その方向で検討したい。

委員 職員研修は、通年でやることになっているが具体的には何を計画的に実施しているのか。

館長 各公民館には事業担当者があり、そこで何を行うか決めて研修を実施している。通年とはそのことを指す。先日参加いただいた入間地区公民館連絡協議会の中で、公民館初任者研修などがありそれに参加してもらっている。

また、全員ではないが社会教育関係の資格で社会教育主事の方を中心に研修を県レベルで行っているの、参加してもらっている。
定型的なものにはなっていないが、そういうものを組み合わせながら専門の力量が必要であることもあるので一般の公民館の研修だけでは済まない。
新任研修は、4月、5月に実施するのが本来であると考えてるので、実施していきたい。

委員 新任研修はある程度のレベルの人を基準とし、目標として教育をしていかなければならないと考える。

(2) 協議事項 ①平成 27 年度鶴瀬公民館事業評価担当について

館長 26 年度は資料にあるような担当とした。今年度は変更等の希望があればご意見を伺いたい。

委員 私の認識では、任期の 2 年間は同じ事業の評価をするものと思っていたが毎年担当決めをするのならそれでも良いと思う。

館長 事業別担当を決めますので、他の事業評価でやりたいものがあればみなさんで決めてほしい。また、昨年と同様でよいなら変更は必要ないが、市民生活講座の担当者だけは、今回決めてほしい。

委員 私は担当が一番少ないので、私によければ引き受ける。

委員 昨年、担当して内容を熟知できた事業を今年も引続き評価したい。

館長 よろしく願います。

②公の施設予約システム進捗状況について

館長 これについては会議等で説明してきているが、その中で、基本的に利用者に影響が出ないように導入方法を進めている。利用者懇談会では、具体的な説明もした。利用が本格化してきたら利用者にさらに詳細に説明する考えである。

〈地区公運審のみなさまへの説明のための資料〉

1. システム導入目的 2. システム導入の概要（導入で新たにできること）

3. 市民の皆さんにとって、予約システム導入で変わるポイント

公民館長が上記の資料に基づき説明。

委員 予約システムでは自分のパソコンでも 2 か月先までなら空き状況や仮予約の確認はできるのか。

館長 できる。

委員 パソコンより仮予約をし、本申請を窓口で行い、使用することになるが、使用状況を確認した方が良いと思うが、そういうシステムになっているのか。

館長 統計は、団体登録をした際の人数で入れていくのか、報告書にある利用人数を入れるのかの問題はあるが、どちらにしてもシステムの的には、統計が出来るようになっている。

年齢まで入れるか、男女別に入れるのかは調整事項となっている。

現在、基本ベースを作っている。

委員 分かりました。これを実施するとき、最終の本申請が完結になるまで出来るならよいが、予約システムだけならもったいないと思う。

館長 全国的には、部屋の空き状況のみが把握出来る、仮予約までなら出来るシステムが多いと思う。また、少数だがお金の支払が既にできるところもある。

委員 これからは、高齢者もパソコン等を使えるようにならなければいけないと思う。

館長 ATMの機械は、高齢者も随分使っていると思う。予約システムもそういう意味では便利だと思う。利便性が浸透すれば状況も変わってくると思う。

委員 最近では便利さが犯罪の方に繋がることが増えている。登録カードなどにIDを入れるのか。

館長 決定ではないが、番号を入れるか、入れずに記憶してもらうかを検討している。

委員 イメージ的には登録カードにIDを入れるのかと思った。

委員 現在、午前、午後、夜間の3区分になっているが、時間区分にするのか。

館長 時間区分にしてほしいとの要望はそれ程多くはないが、水谷公民館では、一部要望があり同区分で2団体が使っている。同区分帯の料金をそれぞれの団体が出していれば条例上は特に問題はないので、システムの移行に伴い対応を考えていく。

委員 使用料を払い区分の時間を全て使うのが基本だが、報告書を見ると終了時間が早い傾向が見られる。

館長 そういうことから時間区分も考慮し、システムの構築を検討したい。

(3) その他

質問等なし

次回会議について

12月2日(水)午後2時～ 第1集会室

公民館運営審議会第2回鶴瀬地域会議を行う。